2026年11月13日

各　位

会 社 名　リバーエレテック株式会社
代表者名　代表取締役社長　萩原　義久
（コード：6666　東証スタンダード）
問合せ先　執行役員総務本部長　天野　伸幸
（TEL．0551-22-1211）

業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の第２四半期（中間期）の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じましたのでお知らせいたします。

また、足元の好調な業績推移および今後の見通しを踏まえ、同日に公表いたしました通期の連結業績予想を上方修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

１．2027年３月期 第２四半期（中間期）の連結業績予想と実績との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,965	百万円 △4	百万円 △31	百万円 △46	円　銭 △5.69
実績（B）	3,465	46	21	△14	△1.77
増減額（B－A）	500	50	53	32	
増減率	16.9%	－	－	－	
（ご参考）前期中間期実績（2026年３月期中間期）	2,861	△169	△180	△175	△21.31

２．2027年３月期 通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,943	百万円 84	百万円 23	百万円 2	円　銭 0.33
今回発表予想（B）	6,648	104	47	12	1.55
増減額（B－A）	704	20	23	9	
増減率	11.9%	24.2%	99.0%	364.8%	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	5,784	△70	△54	△12	△1.48

３．差異及び修正の理由

当中間連結会計期間の売上高は、注力市場である医療・ヘルスケア向けや産業機器向けが堅調に推移したことに加え、主力の小型の音叉型水晶振動子の需要が底堅く推移したことから、前回発表予想を500百万円上回りました。

利益面につきましては、材料費や人件費の高騰などコスト上昇圧力は継続しているものの、利益率の高い医療・ヘルスケア向け製品の販売拡大に加え、小型音叉型水晶振動子の販売増加やプロダクトミックスの改善、全社的な原価低減および採算性を重視した施策が寄与いたしました。これらの結果、各段階利益は前回発表予想を上回り、営業利益および経常利益において黒字転換いたしました。

通期の連結業績予想につきましては、上記の第２四半期（中間期）実績が前回発表予想を大幅に上回ったことを反映し、売上高および各段階利益を上方修正いたします。

下半期の見通しにつきましては、引き続き高収益製品の拡販によるプロダクトミックスの改善などにより、着実な収益の確保を見込んでおります。これら下半期の見通しを上半期実績に織り込んだ結果、通期業績は前回発表予想を上回る見込みです。

なお、下半期の業績見通しにおける想定為替レートにつきましては、１米ドル＝158円を前提としております。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以　上